



■卓話■



ドングリの森づくり

飯 田 隆 彦 会 員

植栽計画について

昨年度で完結しました岩山レンゲツツジの植栽に代わる新たな植栽計画を立ち上げていくために、実行チームとして清水会員と藤村会員に加わってもらい検討を重ねてまいりました。

それと平行して市の公園みどり課に用地の確保についての交渉も続けて参りました。そして出来上がったのが、盛岡中央公園内に「ドングリの森」をつくっていかうということです。

市との話も進み、用地も決まり、これから実行チームとして取り組んでいくところでございます。

市では現在西南開発の一環として、盛岡駅西地区雫石川越えの広大な地域に中央公園を造成しつつあります。旭橋からマリオスの延長上の雫石川に橋が架けられ、その先一帯に2007年の5月頃には市民の憩いの場として中央公園の一部が出来上る予定になっております。

県立美術館、先人記念館そして子供科学館を遊歩道で結び、全体を芝生と低木そして小川と池のある公園にしていく計画となっております。

しかし、公園内の各区画ごとの具体的な仕上りの内容についてはこれから検討していくことになっており、魅力的な案があれば積極的に取り上げていきたいということでありました。

植栽計画の内容次第では公園内の区画にその計画を取り入れ、用地を割当てていただけるとのことですので、早速この中央公園に的を絞って、樹木の選定と植栽内容について検討して

まいりました。

そして植栽の基本的考え方として、

- ①植栽すべき木々は盛岡の気候風土に合った丈夫な木であること、そしてその後の手入れも必要のない自然生育できる樹木であること。
- ②くらしの身近なところで自然を感じ、季節毎に足を運び、散策を楽しみ、心を癒してくれるふるさつを感じる森であること。
- ③木の実がたくさん実り、リスなどの小動物がおり、セミや虫の声、小鳥がさえずるいのちの森を実感できること。

という3つのことを中心に計画づくりをして参りました。

そして出来上がったのが盛岡の気候風土に適した落葉広葉樹であるドングリの森をつくっていかうということでございます。

ドングリの木はコナラ・クスギ・カシワ・ミズナラ・アカモドキなど何種類かありますが、潜在自然植生といって東北地方の土地本来の樹木で、厳しい条件に耐え森を形成する大変丈夫な木です。

そして殆ど手入れがいらぬ木であるということです。

植栽樹木としては、どングりの生る木を主体として、それに栃の木やクルミなど実の生る落葉広葉樹を混植・密植してまいります。

実を集め選別して苗づくり・苗木に育て、そして第1回目2,500本の苗木を植栽して2回3回4回と繰り返す、合計1万本の植栽を実施し

て完結することになります。

子供たちと一緒に家族みんなでのんびりと散策し、ドングリを拾って楽しめる“ふるさとの森”リスなどの小動物の生きる“いのちの森づくり”を目指してまいります。

この「ドングリの森」づくりの計画を市の公園みどり課に持参し、栽用地の割当てをお願いしてまいりました。

公園内を走る緩やかな遊歩道の先にみんなが歩いてみたくなるようなどングりの森があるという私どもの計画に大変興味を示していただき、9月の初め、子供科学館に隣接する南側の5,000㎡の区画が「ドングリの森」の植栽用地として割当てられたわけです。

この地域はまだ農地や草地そして一部農道が通っている状態ですが、来年の春ごろから独立行政法人都市再生機構が主体となって土を入れ造成工事が始まります。

そして再来年2007年の5月頃に造成が完了しますので、そのころに植樹に取り掛かることになります。

5,000㎡ですから広大な区画とはいえませんが、縦長の地形で散策出来る森づくりには十分な広さであると思います。

森が完成しますと公園内の遊歩道で繋がっている南端部にこんもりとした森があり、ドングリや栃、クルミなどを食べるリスが棲み、子供たちやお年寄り、市民のみなさんがのんびりと足を運び散策したくなるような魅力のある「いのちの森、ふるさとの森」を目指して取り組んで参りたいと思います。

実施方法について

今年の11月頃からドングリの実や栃、クルミの実を集め苗木づくりに取り掛かります。そして再来年の春から第1回目2,500本の苗木を植栽して2010年までに合計1万本の植栽を実施してまいります。

第1回目の植栽を再来年の2007年5月に実施することを目指して、すでにコナラ・クスギ・アカモドキ・ミズナラ・カシワなど数種類のドングリの実を採取し、選別してプランターに種まきをして苗木づくりに取り掛かっております。

ドングリ拾いから虫ぬきそして種まき、苗木づくりとすべてわれわれの手で行えばいいのですが、これは大変な作業になります。

そこで苗木づくりまでは本職の藤村会員にお願いしており、既に3,000個の実を集め、種まきが行なわれそろそろ芽が出始めております。

来年2006年の5月頃には三つ葉か四つ葉ほどの芽が出て12~3ほどの苗木に成長しますので、その頃にその苗木を苗木に育ててくれる里親を募集してまいります。里親は300人ほどにお願いしてまいります。

ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、米山奨学生、クラブ会員、さらに公園周辺の小学校へ呼びかけて共感を喚起して苗木育成の里親を募り、一人5個~10個の苗木を配布してまいります。2,500本の苗木を1年間家庭や学校等で面倒をみていただき、30ほどの苗木に育ててもらいます。

1年後の2007年の春に、育った苗木を中央公園の「ドングリの森」予定地に集まってもらい、互いの苗木の成長を確認し合い、植栽方法の説明をしっかり行なった後にいよいよ第1回目の植栽をしていきます。

2,500本の苗木を穴掘りから始め、1㎡に3本ほどの苗木を密植・混植して、寄せ土を入れ、添え木を当て最後にワラを敷いていきます。

同じく来年の11月頃にはまたドングリの採取から始め2,500本の苗木をつくり、そして里親を募集して1年間苗木に育ててもらい、翌年の春にこれを持ち寄って第2回目の植栽を行なってまいります。これを3回目、4回目も繰り返して行なっていきます。

以上、ドングリの採取から植栽実施まで1年半かかります。

里親の皆さんによる1万本のドングリを中心とした実の生る木を混植・密植していき、2010年の春に第4回目の植栽を行なって完結することになります。

ドングリの木やクルミ、栃の木は潜在自然植生とあって、この地域の土地本来の樹木で、厳しい条件に耐えて森を形成する大変丈夫な木ですので、手入れは殆どいりません。植栽した1万本の木の生育を毎年見守っていくことになり

ます。

以上が「いのちの森、ふるさとの森づくり」の活動計画です。

実が生り、たくましく成長した森になるまでには20年30年の年月がかかりますが、ドングリやクルミ、栃の実を餌としてリスなどの小動物が生きる森、セミやカブトムシなどがいて鳥が棲む森、そして子供たちやお年寄り、家族の皆さんがのんびりと散策し、ドングリを拾って楽しめる“ふるさとの森づくり”を目指してその第一歩をスタートしたところですので、これからの皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

予算について

ドングリの採取とプランターへの種まきなど苗づくりの費用と、植樹の際の2,500本分の土と添木、ワラが必要になりますから、苗づくりから植栽までの1回当たりの費用の見積りは約85万円ほどになります。

ドングリを集め選別してプランターに種蒔きをして苗をつくり、そして里親を募集して苗木の育成をお願いし、1年後に植栽をしていくというこのパターンを4回繰り返しますから、総額340万円ほどの費用がかかります。

その費用の70%を地区を通してロータリー財

団に助成金の申請をしており、国際審査をクリア出来ることを見込んでおります。従って30%についてはクラブの負担ということになります。

会員が減少して予算の規模も縮小しており大変厳しい財政状況にあるわけですが、社会奉仕委員会を含め国際奉仕委員会、職業奉仕委員会、新世代委員会の四大奉仕委員会の活動費はクラブの予算からは計上しておりません。すべて会員の皆さんの毎例会のスマイルでまかなわれておりますことは皆さんご認識のとおりです。

会員の皆さんのスマイル協力がなければ奉仕活動は行なうことが出来ないわけですが、例会毎に皆さんからのスマイル協力をいただいておりますが、会員の減少もあり、毎月のスマイル収入の目標達成が大変厳しい状態にあります。

どうぞ、皆さんのスマイル協力をよろしくお願いいたします。会員一人一人のスマイル協力によって奉仕活動が充実してまいります。

毎月4回の例会がありますが、その内1～2回の例会において、2,000円程のスマイル協力をいただきますと4大奉仕委員会の奉仕活動が大変盛り上がり参ります。

皆さんのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。まして「ドングリの森づくり」の計画と進行状況についての報告とさせていただきます。

■会長報告■

12月に入り、冬至が近づくにつき日が最も短い時期になり、何かと慌ただしい日が続いております。ロータリーも間もなく折り返し点を迎え、1年の早さを痛感しております。

来週は「総会」、次週は「クリスマス家族会」が今年の最後の会になります。事業計画活動も各委員会の方々におかれましては今一度、計画通りに行なわれているか確認をして頂きたく思います。また、今期一番に心配しておりました「会員減」でしたが、会員増強委員会の方々の努力により多くの方に入会を頂きました。今後とも会員の皆様にはご尽力頂きまして「62名超

にチャレンジしたいと思っております。ご協力の程よろしくお願いいたします。

最後に今から忘年会シーズンで酒を飲む回数も増えると思いますが、皆様におかれましては、十分にお体にお気をつけ下さい。

■幹事報告■

1. 他クラブ例会変更について

盛岡南RC：12月20日(火)はクリスマス家族会のため18：30～

12月27日(火)と1月3日(火)は特別休会

盛岡中央RC：12月27日(火)と1月3日(火)

は特別休会

1月10日(火)は新年例会のため
18:30~一の浜にて

盛岡西北RC:12月21日(水)は滝ノ沢RCと
合同クリスマス家族会のため
18:30~

12月28日(水)と1月4日(水)は
特別休会

盛岡滝ノ沢RC:12月22日(木)は盛岡西北RC
と合同クリスマス家族会のため
21日(水)18:30~ホテルメト
ロポリタン盛岡本館4Fにて

12月29日(木)と1月5日(木)は
特別休会

2. 水沢いさわRC創立10周年記念祝賀大会の ご案内

日時:平成18年2月19日(日)14:00開会点鐘

場所:プラザイン水沢

登録料:会員10,000円 家族7,000円

参加希望者は幹事まで

3. 本日例会終了後、定例理事役員会を開催い たします。関係各位にはご出席よろしくお願 い致します。

■表彰行事■ 100%出席達成表彰

10月 阿部修司(3年)

■新入会員■



氏家寿恵(うじいえすみえ)

岩手きもの学院学院長

住所/盛岡市茶畑

推薦者/東島末起会員

■ゲスト■

(岩手大学教授)宮本 裕

(米山奨学生)グンジェー・ゾリーグ

(岩手大学工学部研究科)セリメ・ママトト

■ビジター■

(盛岡)安部 道

SMILE

☆須賀靖朗会長…待望の女性会員、
氏家寿恵様をお迎えして歓迎のスマ
イルをします。

☆田口絢子会員…待望の女性会員、
氏家先生をお迎えして大変嬉しく思っています。
氏家先生は礼儀作法の先生でもあられるので、
私の普段の不作法をチェックしていただきたい
と願ってスマイルします。(お行儀悪いから恥
かしいので)

☆高橋恒男会員…今日はバッジを忘れて来まし
たのでスマイルさせていただきます。

☆坂本守会員…先月、突然父が亡くなりました。
多くの方々のお陰で葬儀を済ませる事が出来ま
した。本当にありがとうございました。また、
12月は特にスケジュールが多忙な時期なので、
どうしても欠席が多くなります。お詫びの気持
ちを込めてスマイルさせていただきます。

☆飯田隆彦会員…今日は卓話を担当させていた
だきます。よろしく願い致します。

☆中居敬一会員…今日は早めに失礼しますので、
お詫びの気持ちを込めてスマイルします。

☆小川智子会員…あっという間に、今年も師走
の7日になりました。今日は久しぶりの例会出
席です。皆様のお元気な顔を拝見して、思わ
ず大きなスマイルです。先日は、心労のために
卓話ができなくなり大変ご迷惑をお掛けして、
お詫び申し上げます。師走は字のごとく、大学
は就職、入学試験、国家試験、卒業と控えて、
先生も学生にも悩みの多い時期で、私も心を痛
めています。

日曜日から東京へ出張で昨日帰りましたが、日
本中、寒波の襲来で、コートの襟をたてて、4
つの用事に駆け回りました。でも、帰りの新幹
線から見た、奥羽山脈の高い山々と早池峰山の
白い雪が太陽に輝いて美しく見えたのは、大き
な心の癒しになりました。

出 席 報 告

会員数 61名

出席数 36名

出席率 61.11%